

平成6年11月30日

運輸大臣 亀井 静香 殿

神奈川県知事 長洲 一二

横浜市長 高秀 秀信

川崎市長 高橋 清

首都圏における空港整備の促進について（要望）

21世紀における航空輸送は、その需要の増大とともに、ニーズの高度化、多様化が見込まれるところであり、国内、国際を含めた航空ネットワークの充実の必要性がかねてから指摘されております。わが国においては、このような状況に対応するため、新東京国際空港の整備、東京国際空港の沖合展開、関西国際空港の開港を最優先課題としつつ、計画的な空港の整備が進められているところでもあります。

航空需要の動向を考えますと、これまでわが国の航空需要は急激に増加しており、今後の高速交通ニーズの高まりや国際化の進展等を背景として、引き続きこの傾向は続くものと予想されます。

神奈川県、横浜市及び川崎市は、これまで神奈川にとって望ましい空港のあり方について、共同して調査研究を実施してきましたが、2010年度の首都圏における航空需要は、国際・国内、旅客・貨物を通じて、1991年度の概ね2倍から3倍という予測結果となっています。

このような状況を踏まえ、三団体は、県民、市民にとって利便性の高い空港の整備が必要であるとの認識を深めております。

については、空港整備の計画的な推進に当たりまして、首都圏における航空需要の増大に対応し、神奈川県民にとって利便性の高い空港を実現するため、首都圏における空港整備を促進されるよう要望します。